

物語を読んで、感想文を書こう。

めあて

表げんのくふうに目を向けて読もう。

●感想文を書くための三つのコツ



コツ一 物語の内ようを読み取る。

コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。

くふうして書かれているところ

●地の文が、(ノービー) によって語られている。



・ノービーが話して聞かせてくれているような感じ。

・地の文にも、ノービーのせいかくが出ている。

・自分がノービーになったような気分になる。

●ノービーのせいかくが表れるように、音読してみよう。



・自分がノービーになったような気持ちで読めた。

・ノービーと友達みたいに感じた。

・前より、ノービーになりきって読むことができた。

※児童の発言に合わせて板書します。

【5 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」⑤
本時のねらい

物語の表現の工夫に気付かせ、それについて自分の考えをまとめさせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。

○ 感想文を書くために、**コツ一** 物語の内ようを読み取る。ことを押さえる。

※ 提示物**コツ二**に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。

○ ワークシート⑤を配り、記名させる。

○ 本時は、物語の表現の工夫に目を向けて読んでいくことを知らせる。

2 物語の表現の工夫を捉える。

○ どんな表現の工夫があるかを考えさせながら、全文を役割読みさせる。

○ 工夫して書かれていると思うところを発表させる。

※ 答えが出ない場合は、既習の物語(「ごんぎつね」など)と比べさせます。

○ 地の文がノービーによって語られていることから、どんな印象を受けるか、ワークシート⑤に自分の考えを書かせる。

○ 書いたものを発表させ、一人一人の感じ方の違いに気付かせる。

※ ペアや三々五人のグループで感想を伝え合った後、学級全体に広げてもよいでしょう。

3 ノービーの性格が表れるように、音読する。

○ 表現の工夫を実感させるために、ペアで交互に読ませたり、数人に代表で音読させたり

した後、聞いたり、音読したりした感想をまとめさせる。

○ まとめたものを発表させ、一人一人の感じ方の違いに気付かせる。

※ ペアや三々五人のグループで感想を伝え合った後、学級全体に広げてもよいでしょう。

評価 物語の表現の工夫に気付き、それについて自分の考えをまとめている。(読工)

4 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

○ ワークシート⑤で自己評価をさせる。

○ ワークシート①で次時から感想文を書くことを確かめさせる。